

# 枕崎駅舎が完成



# 駅み 舎ん をな 建の

# で力 た

舎建設期成会が発足したのが昨年3月のこと。それから約1年、駅舎建設や「かつお節行商の像」、「山幸彦像」を設置するための費用として市民や本市出身者、鉄道ファンなどに寄附を募ったところ、多くの方々から賛同いただき、現在、約2400万円の寄附金が集まっています。また、県の「森林環境税事業（木のあふれる街づくり事業）」からの補助金も活用しました。

さらに、駅前前広がる「出会いの広場」や展望デッキなどの駅周辺整備は、県の「魅力ある観光地づくり事業」によるものです。

同事業は、今年度も継続実施される予定で、駅西側を市民や観光客の憩いの広場として整備が進められます。今後、枕崎観光の拠点として活用されることが期待されます。

平成18年に旧駅舎が解体されて以来、市民や本市出身者などから「駅舎がないのは寂しい」という声が多く上がる中、枕崎駅

## みんなの想いが集結

50人に乗せた記念列車がホームに到着すると、集まった多くの人たちが乗客を拍手で迎えました。餅投げや「枕崎鯉船人めしSP」、カツオのたたきなどの振舞いもあり、たくさんの方々の笑顔で溢れる賑やかな一日となりました。

神事を行ったあと、火の神乙女太鼓の太鼓演奏で華やかに始まった落成式。枕崎駅舎建設期成会の神園征会長（市長）は「小さい駅だが、中身はいっぱい詰まっている。これからも市民の協力をいただきながら、大きく育てていきたい」とあいさつ。このあと、指宿市在住の彫刻家、田原迫華さんが制作した「かつお節行商の像」の除幕や関係者によるテープカットがあったほか、150人に乗せた記念列車がホームに到着すると、集まった多くの人たちが乗客を拍手で迎えました。餅投げや「枕崎鯉船人めしSP」、カツオのたたきなどの振舞いもあり、たくさんの方々の笑顔で溢れる賑やかな一日となりました。

枕崎駅舎乾杯！  
4月28日に行われた枕崎駅舎落成式。枕崎駅舎建設期成会の大茂健二郎副会長商工会議所会頭の発声を合図に、駆け付けた約2000人が7年ぶりの復活となった枕崎駅舎の完成を祝いました。